

平成25年度 小千谷市社会科部 活動報告

部長 堀川 章

1 研究主題

- 授業公開や実践等における情報交換を有効活用し、授業力の向上を図る。
- 個人研修を通して、学習指導要領の趣旨を生かした授業改善並びに、地域教材・資料の収集に取り組む。

2 研究の概要

- (1) 教育課程研究集会伝達講習を実施する
- (2) 日々の授業実践を通じた授業力向上、授業改善に向けた情報交換を行う
- (3) 市内校の社会科公開授業に積極的に参加し、授業技術を高める

3 研究の実際

(1) 教育課程研究集会伝達講習

① 学習指導要領の趣旨を踏まえた指導上の留意事項

- 改訂の趣旨を踏まえて、新内容を積極的に教材化すること。
- 「内容の取扱い」を「社会的事象の意味を確かに理解するための視点」「よりよい社会について考えさせる視点」で受け止め、「社会的事象をどのように見せるか、どんな視点で教材化すればよいか」を考えるために生かすこと。

② 学習のポイント

- 学習内容を全体的、構造的に捉え、「何を教えるか」を明確にすること。
- 言語活動、問題解決的な学習を充実させること。
- 具体的な評価規準を設定したり、児童の言語表現を聞き取る・読み取るための視点を身に付けたりして、児童の表現を「評価する技術」を充実させること。

(2) 日々の授業実践を通じた授業力向上、授業改善に向けた情報交換

- 見学学習に視点を当て、小千谷市の地域素材について、中・高学年別に情報交換を行った。

① 中学年部会

「山崎酒造(味噌造り)」「エヌ・エスアドバンテック(車両の計器類の製造)」「消防署・警察署」など

② 高学年部会

「農園ビギン」「馬高資料館(縄文時代の暮らし)」「市役所(江戸時代までの地図)」など

(3) 公開授業への参加

- 小千谷小学校の公開授業へ参加<11月27日(水)>
 - ・研究主題「社会的事象と自分とのつながりに気づき、追求する子どもの育成」
 - ・公開授業「4学年：小千谷市民の思いを受け継ぐ小千谷小学校」
「5学年：わたしたちの暮らしと情報」

4 おわりに

- 各校の実践を持ち寄り情報交換することで、会員一人一人がより多くの地域素材を知り、活用の幅を広げることができた。また、自校に帰り、すぐに実践へと結びつけることもできた。今後は、より深まりのある活用方法を探ると共に、人材リストの蓄積にも取り組んでいく必要がある。
- 公開授業への参加は、授業力向上等にも役立つので、今後も継続していきたい。